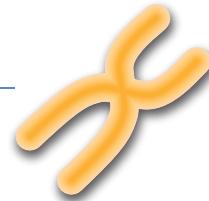


本書の構成

I部：ゲノム医学の基礎知識

第1章 ゲノムと遺伝子

- ・ゲノムとは、遺伝子とは何か
- ・DNAからタンパク質ができるしくみ
- ・細胞の個性はどのように決まるのか etc.



第2章 遺伝子多型と病気とのかかわり

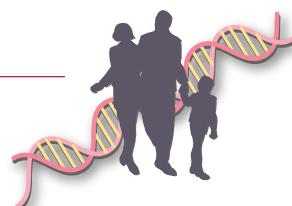
- ・個人の違いが書き込まれた遺伝子多型・SNPとは
- ・発病との関連をSNPから探るには
- ・国際ハップマッププロジェクトから明らかになったこととは
- ・開発が進む超高速シークエンサーとは etc.



II部：ゲノム医療への躍進

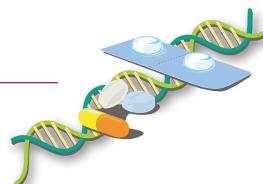
第3章 ゲノム情報と薬理遺伝学(薬理ゲノム学)

- ・遺伝子多型と副作用との関係は
- ・ゲノム情報はどのように薬剤の投与に活用できるのか
- ・ゲノム情報の利用について、欧米の取り組みは
- ・倫理問題への提言 etc.



第4章 ゲノム情報から医学有用情報、そして創薬へ

- ・ゲノム情報が創薬に与える影響は
- ・進展する分子標的薬、抗体医薬、ワクチン療法開発
- ・難治疾患の治療に向けた遺伝子治療、細胞療法とは
- ・新薬開発による患者さんや医療経済への影響とは etc.



第5章 バイオバンクジャパン計画

- ・オーダーメイド医療実現化プロジェクトとは
- ・ゲノム情報を大規模に収集する
バイオバンク(DNAバンク、血清バンク)とは
- ・個人情報を保護する対策とは etc.

